

科目名	音楽基礎A2								年度	2024
英語科目名	Basic Theory of Music A2								学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	夏野カレン		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】 3和音コードと4和音コード、テンションの構成について理解を深め、音楽をより詳細に理解する。これにより、作曲やアレンジ、演奏にこれらの要素をどう生かせるかを知る。音楽用語と記譜法に焦点を当て、3和音コードや4和音コード、テンションの知識を身につけ、ミュージシャンとして最低限必要な譜面の知識を学ぶ。										
【科目の概要】 ミュージシャンとして必要最低限な譜面の知識を学びます。										
【到達目標】 A. 3和音コードの構成、4和音コードの構成、テンションがわかる。 B. より音楽を深く理解し、最終的に実際の作曲やアレンジや演奏にどう生かせるかを知る。 C. 3和音コードの構成、4和音コードの構成、テンションの範囲に限定した音楽用語と記譜法を学び習得する。										
【授業の注意点】 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力					
到達目標 A	3和音コードの構成、4和音コードの構成、テンションがわかる		3和音コードの構成がわかる		到達目標Aについてさらなる努力が必要					
到達目標 B	より音楽を深く理解し、最終的に実際の作曲やアレンジや演奏にどう生かせるかを知る		実際の作曲やアレンジや演奏と授業内容の関連性がわかる		到達目標Bについてさらなる努力が必要					
到達目標 C	3和音コードの構成、4和音コードの構成、テンションの範囲に限定した音楽用語と記譜法を学び習得する		3和音コードの構成の範囲に限定した音楽用語と記譜法を学び習得する		到達目標Cについてさらなる努力が必要					
【教科書】 決定版音楽理論ワークブックポピュラー音楽を完全理解										
【参考資料】 特になし										
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験50%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表・提出物30%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		音楽基礎A2			年度	2024
英語表記		Basic Theory of Music A2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	前期復習	基礎確認	1 前期復習	前期内容の確認ができる	3	
			2 基本理論確認	基本的理論を復習できる		
			3 楽譜解読復習	楽譜の解読能力を強化		
2	写譜技術	楽譜作成	1 スコア書き方	正確なスコアの作成ができる	3	
			2 写譜方法	手書きでの写譜ができる		
			3 譜面の実践	スコアの基礎を理解できる		
3	楽譜記号	記号習熟	1 リピート記号	リピート記号の適用ができる	3	
			2 コーダの使用	コーダの正しい使い方ができる		
			3 括弧の利用	楽譜内の括弧使用法を習得		
4	終止形概	和声基礎	1 終止形学習	長音階の終止形を理解できる	3	
			2 終止形実践	終止形の実践演習ができる		
			3 調和の理解	ダイアトニックコードの基本を把握		
5	基礎確認	成績評価	1 2-4内容確認	2-4の内容を完全に復習できる	3	
			2 楽譜読解	スコアローディングの技術を習得		
			3 高度な演習	楽譜読解のスピードアップができる		
6	特殊コード	和声拡張	1 ベーシックコード	sus4/augの基礎を理解できる	3	
			2 sus4/aug学習	テンションの基本的概念を把握		
			3 テンション調査	コード構造の変種を学ぶことができる		
7	近親調解説	調性理解	1 近親調の基本	平行調・同主調の理解が深まる	3	
			2 近親調実践	近親調の概念と実践ができる		
			3 調の変更実験	長音階のコード進行を理解できる		
8	コード進行	進行基本	1 コード進行学習	ダイアトニックの進行理論を習得	3	
			2 長音階実践	実際の曲での進行を分析できる		
			3 調和の応用	コードの進行の実践ができる		
9	進行応用	進行発展	1 ダイア進行	6-9の内容の確認・応用ができる	3	
			2 長音階活用	スコアローディングの高度な技術を習得		
			3 曲の構築	マイナーの種類の違いを理解できる		
10	中間復習	中級復習	1 6-9内容確認	マイナーコードの進行を学ぶことができる	3	
			2 楽譜作成技術	短音階の進行の特性を把握できる		
			3 演習と実践	代理コードの基本を理解できる		
11	マイナー種	マイナー基本	1 マイナー種類	代理コードの応用ができる	3	
			2 マイナー基本	複数の調への変更がスムーズにできる		
			3 調和の探求	後期の内容を完全に復習できる		
12	マイナー進行	マイナー応用	1 マイナー進行	複雑な楽譜の解読ができる	3	
			2 短音階実践	学年の内容を総復習できる		
			3 コードの進行	学年を通じた成果を確認できる		
13	代理コード	代理和声	1 代理コード理論	自らの成長を実感できる	3	
			2 代理コード実践	楽曲分析の能力を高める		
			3 変調の技法	コード構造の理解を深める		
14	後期総括	後期整理	1 後期復習	音楽理論の応用ができる	3	
			2 実践的練習	演奏技術の向上を実感できる		
			3 曲の解釈	複数の楽器のスコアを読む技術を習得		
15	年間総括	総括評価	1 年度復習	コードの変種を自在に使えるようになる	3	
			2 演習とテスト	音楽の背景知識を深めることができる		
			3 総合的応用	楽曲の構造分析ができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等